

発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

9月神殿講話より

統北分教会長
山本一元先生

立教185年9月月次祭の神殿講話には、統北分教会長で、天理教青年会副委員長の山本一元先生が登壇された(写真)。講話の一部を要約して紹介する。

私の教会では現在、35名の住み込みさん方がおられ、これまでに60名ほどの方々を受け入れてきました。そうした中で最近SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を使っていたおたすけしております。Twitterで「駆け込み寺」



というアカウントを作って悩み事やトラブルの相談を受け、緊急の場合にはすぐに迎えに行ったりします。そうして出会った人々とうしたら運命が変わるのか人生がよい方向に進むのかということをお話しさせていただきながら、希望があれば住み込みとして教会に入ってもらい一緒に暮らしています。その後、教会や修養科での生活を通して「周りの人に喜んでもらえるような人間になります」と言

年間活動目標
創立110周年に向かって
今日を陽気に。
おつとめ おたすけ ひのきしん

つてくださるようになるまで成人した若い男性もおられました。

おたすけをする際に大切にしていることは、相手の人生には複雑な背景があり、今見えていることだけが全てではないということ。前提としてお話を聞き、それを認めて寄り添うということです。また、私たちは貧困の方々に食事を提供するとはできません、根本的なおたすけには神様にご守護い

大教会秋季大祭

10月13日(木)

午前10時



(続きはYouTubeにて
本愛誌の読者限定でご
覧いただけます)

ただくしかありません。神様にご守護いただくにはどうしたらいいか。それはおつとめしかありません。不思議を見せていただくことが神様の姿なんだ、願う心の誠から見える利益が神の姿とお聞かせいただくように、教会は神様の不思議を見せていただける場所であります。そしてそれには心の誠が必要なのだ、おたすけをする中で感じさせていただきました。

入社祭	1日	午前10時
よふき会例会	2日	午前10時
こはる会例会	12日	午前10時
青年会例会	13日	午前10時
秋季大祭	13日	午前10時
布教実修所	14日	午前10時
むつみ会例会	16日	午前10時
こども食堂MOGU	17日	午後5時
婦人会例会	20日	午前10時
女子青年例会	23日	午前10時
ほんあいOKEIKO	23日	午前10時
本部秋季大祭	26日	午前8時
第96回天理教青年会総会	27日	午前9時

10月のこよみ

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



これまで、みかぐらうたに沿って話を進めてきました。今回からは第5節の各下りについて順に考えてみたいと思います。

教祖は誰にでも分かりやすいように数え歌の形で第5節を教えて下さいました。それでも150年以上経った現代の私たちにはわかりにくくなってしまっている言葉が多々あります。ここでは、各下りをもう少し現代の私たちに引き寄せて考えてみます。

何が「やれめじらしい」のか

一下りの大きなテーマは「モノの豊かさのご守護」だと言えるでしょう。

これは中臺勘治先生が著



書の中で述べておられることですが、教祖は第5節の初めに、まず作物の収穫日々の暮らしの糧となる食べ物をお与えただけのことには、

すべて親神様のご守護によるものだとお示しを、非常に具体的にお示し下さっています。深谷太清先生の『十二下りのてをどりを身近に』では、各下りのお歌を一つずつ解説されていますので、ぜひお読みいただきたいと思えます。

現代でも農作業は大変な労働ですが、江戸時代には

化学肥料や農薬などがほとんど無く、悪天候や虫害で作物が取れなくなることが頻発していました。

特に、肥料は非常に重要で、良質な肥料は「金肥」と呼ばれ、高価なものだったようです。

一下りの冒頭で「正月、肥のさづけはやれ珍しい」と始まるのは、自分の田畑の肥料を買う余裕の無い人々に対し、教祖がお正月に「肥のさづけ」を下されたことを表しています。

この「肥のさづけ」は、土と灰と糠(ぬか)を一定の割合で混ぜたもので、これを田畑に撒けば、高価な金肥と同様の効能があるというものでした。ですので、これを「珍しい」と示してください。

恩を返すこと＝散財心

安藤正吉初代会長は『みかぐらうた講話』の中で、続く「さんざいごゝろをさ

だめ」というお歌について特に詳しく書いておられます。

この「さんざい」は「三才」とも「散財」とも考えられますが、初代会長様は「親神様に恩を返していうとする心のこと」と悟っておられます。

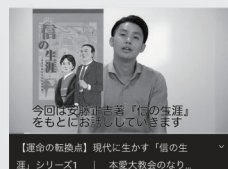
「人間が出世できないのは、大恩を知らぬのが一大原因である。大恩をはたして行く事、減じて行く事を『散財心』であると私は悟っている」

「人間が幸福になるすじ道は、井戸の水と同じ事で、井戸はくまなければ新しい水は湧いてこない。すなわち出して入るとい理である」

と書いておられます。さまざまな悟り方ができる箇所ではありますが、本愛大教会につながる者としては、ぜひ「報恩感謝」の心を、このお歌から読み解きたいものだと思います。

連載の内容を YouTube でご覧いただけます！

今回の連載の内容を動画でも配信中！
『本愛誌』連載企画と一緒にご覧いただくと、
より理解が深まります！



チャンネル登録

教理随想

言わん言えんの理を探る



物事の考え方
や受け止め方に
は次の三つがあ
ります。一つ目
は、「物一条」の
考え方。たとえ
ば風邪をひいた
とすると、薄着
をしたからとか
寒かったからと
か、あるいは疲
勞が重なり、ウ
イルスに対する免疫が弱く
なったからなどと、物理的
な事象が原因で成つてきた
とする考え方です。この考
え方は非常にシンプルで、
多くの場合争いなどには至
りませんが、意味を深く考
えないから、人間としての
成長もあまり期待できない
のではないのでしょうか。

二つ目は「人一条」とい
う考え方。こういうタイプ
の人はもう少し深く考えま
す。もちろん風邪のウイル
スも知っています。しかし
原因は他にないかと考える
あの人にうつされたからだ
とか、あの人が無理をさせ
たからなどと、他の人が原
因で成つてきたと考えます。
だから具合の悪いことが起
きてくると、憎しみ、恨み、
腹立ちなどの気持ち湧い
てきて、時には争いにもつ
ながりかねません。

三つ目は「神一条」という
考え方。こういう人は、ウ
イルスのことも、人のこと
もみんな知っている。しか
しなぜ風邪のウイルスや嫌
な人との縁ができたのかと、
さらに深く考えます。そし
て最後は、この世をご守護
くださる神様のなさること
という思いに至るのです。
風邪をひいたのは何か神
様からのお知らせと悟り、
陽気ぐらしができていたか、
あるいは心に隙や不足がな
かったか、などと反省をす
る。つまりどんなことも自
分の反省として受け取るか
ら、恨んだり腹を立てたり
することがあまりありませ
ん。結局こういう人は事が
起きるたびに人間として成
長し、争いのない暮らしが
できるようになります。そ
う考えると、教祖から「神一
条」の考え方や暮らし方を
教えられている私たちお道
の信仰者は、いかに幸せで
あるかがよく分かります。
教祖は「成ってくるのが

天の理」と教えてくださ
いました。つまり、自分の周囲
に起きる出来事は神様がし
ておられることで、それは
すべて整然たる法則。「天
の理」どおりに現れている
ものだと教えられているの
です。ならば、その成つて
くる法則を知る。ここが肝
心な点であります。

■喜びの種時きを

法則の一つは「元のいん
ねん」です。すなわち現
れてくる出来事にはすべて、
陽気ぐらしをさせたいとい
う親神様の温かい親心が込
められている。これが「元
のいんねん」で、この世の
真実です。

気ぐらしへ導かれる親心を
知らなくてはなりません。
もう一つの法則は「個々
のいんねん」といわれるも
ので、人それぞれに今まで
どんな種を蒔いてきたかと
いう事実には焦点を合わせま
す。そして家庭円満には家
庭円満の種、商売繁盛には
商売繁盛の種、健康には健
康の種があることを知って
種時きに努めれば、必ず収
穫を見せていただける。こ
れが天の理です。

成ってくる姿の元には、
親神様のなさることと人間
のすることがあります。人
間のできることは種を選ん
で蒔くこと。そして親神様
のなさることは、そこから
芽を出し、茎を伸ばし、花
を咲かせ、実をみのらせて
くださる。これが天然自然
の法則ですから、私たち人
間は、しっかりと種を選ん
で旬を見極め、精一杯に喜
びの種を蒔かせていただき
たいものであります。

お道では昔から、「身上
事情は道の花」といわれま
すが、困った身上や事情と
いう花が咲くから、その悩
みを通して心の目が開かれ
本当の生き方に近づいてい
く。つまり実がみのるとい
うことです。このように陽

【第 94 回】

神一条の考え方を身につけ
天の理に沿った生き方を

第124回教人資格講習会

修了者

(令和4年9月10日付)

- 本枇杷島 青木さきえ
- 本理愛 門田 理
- 以上2名

8月のおさづけの理拝戴者

- 本仁愛 伊藤 由華
- 本桑名 服部 壮志
- 本愛中 二井 明里
- 本尾愛 大池 彩凜
- ” 大池 詩織
- ” 大池 萌香
- 以上6名

本岩塚分教会三代会長夫人

杉村廣子之霊の一年祭

本岩塚分教会では9月4日午前11時より、三代会長夫人・杉村廣子之霊の一年祭が、同分教会で行われた。

本愛大教会
YOUTUBE
はじめました!



ほんあいOKEIKOが「半年コース」になります!



10月開催分から予約制の「半年コース」にリニューアルします。
月に1度、半年間受講することで、よりじっくりと学んで頂けます。
クラスはダンス・書道・ピアノ・生花・勉強サポートの5クラスです。



受講料は半年間で500円、一人最大2クラスまで受講可能です。右のQRコードから申込み、もしくは「mail@hon-ai.org」にお問い合わせください。

開催日時(午前10時～)		
2022	10/23	11/27 12/18
2023	1/15	2/19 3/19

大教会日誌

令和4年8月25日～令和4年9月24日

8月

26日 本部月次祭

13日 月次祭

31日 常任役員会議◇役員会議

祭主・大教会長 扨者・筑紫英一、大倉光晴

9月

指図方・安藤正二郎 賛者・松原悟、山本治行

1日 入社祭

◇祭典講話一統北分教会長・山本一元先生

祭主・大教会長 扨者・大橋進、松浦道太郎

◇大教会長挨拶

指図方・大倉八郎 賛者・津田豊郎、長良英男

青年会例会

秋季霊祭

16日 むつみ会例会

祭主・大教会長 扨者・大倉八郎、野田正道

17日 こども食堂MOGU (参加者47名)

指図方・安藤正二郎 賛者・杉下和平、佐藤幸一郎

18日 ほんあいOKEIKO (参加者15名)

2日 よふき会例会

20日 婦人会例会

12日 常任役員会議

おつとめ・十二下りてをどり